

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道246号裾野バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 中部地方整備局	延長 35.3km
起終点 自：静岡県駿東郡小山町小山 至：静岡県沼津市大岡			
事業概要 一般国道246号は、東京都千代田区を起点とし静岡県沼津市を終点とする延長約123kmの重要な幹線道路です。裾野バイパスは、駿東郡小山町小山から沼津市大岡に至る延長35.3kmの国道246号のバイパスで、現在までに延長30.9kmの四車線化が完了し、4.4kmが暫定2車線として開通しています。 本事業は暫定2車線にて開通している区間について4車線化の事業を実施している。			
S41年度事業化	S46～61年度都市計画決定	S41年度用地着手	S41年度工事着手
全体事業費	約520億円	事業進捗率	74%
計画交通量	46,800台/日	供用済延長	四車30.9km
費用対効果分析結果	B/C 事業全体 6.1 事業費 1.6	総費用 事業費：116/883億円 維持管理費：18/143億円	総便益 走行時間短縮便益：210/6,002億円 走行費用減少便益：2/214億円 交通事故減少便益：3/24億円
事業の効果等 ・渋滞の解消（暫定2車から4車線化における年間渋滞損失時間の削減） 他6項目に該当。			
関係する地方公共団体等の意見 裾野バイパスは、東名高速道路と並行しており、近年沿線には先端技術関連産業の研究施設や事業所の進出が相次ぎ、高度技術集積ゾーンとして急速に発展しており、地域社会に産業・経済活動に欠かすことの出来ない重要な路線として期待されており、沼津市をはじめとする関係3市2町の首長で構成される一般国道246号バイパス建設促進期成同盟会より早期整備の要望（平成18年7月5日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・国道246号に広域交通が集中 ・幹線道路の交通渋滞 ・一次緊急輸送路としての機能低下			
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・裾野バイパスL=35.3kmのうち30.9kmが4車線区間、4.4kmが暫定2車区間。 ・事業進捗率は74%（平成18年度末見込み）。 ・暫定2車区間については地元調整を実施中。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・暫定2車区間のL=4.4kmは平成20年代半ばまでに4車線化を予定。			
施設の構造や工法の変更等 ・残事業費の全工事費の内約8億円（約6%）のコスト縮減を図り全工事費が約129億円となっている。（例：橋梁形式の見直し約0.5億円、長大切土構造の見直し約7.6億円）引き続きコスト縮減に努めながら、現計画に基づいて事業を推進する。 ・代替案の可能性については、当計画が暫定2車線にて開通している区間の現道拡幅の4車線化事業であることから計画の変更は困難。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。			
事業概要図			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。